## 介護の日に福祉の啓発を様々な機会を通じ啓発する



介護の日•福祉の仕事体験フェア

者
奏







讎

（3）を協地（2）果議域

きて
に（1）
問介た会包介での介 11 福㷪しては括檴るる予予急
業











 は






务

$$
\begin{aligned}
& \text { 業 } \\
& \text { 定 } \\
& \text { 定 } \\
& \hline
\end{aligned}
$$組

だミ
経
費
と
今
今
後
事
事 エ．
港
各
号
の
事
業
取




整
方


 （2）
国
東
齐
取
組
を


 つ問事
業
茠
菂
华



みなと区民の森


## 山根トミ江議員 <br> 保険税の引き下げを基金使用は難しい



（1）市
実
蔀
的


| （3） | 雩 | あ（1） |
| :---: | :---: | :---: |
|  |  | る |
| 万 21 | る 今 平 | 実 |
| 6 年 | 年成 | 質 |
| 29 | 度 19 | 的 |
| 7 月 | が年 | 改 |
| 7 現 | 1 度 | 定 |
| 円在 | 21 | は |
|  | 62 |  |
| あ 5 | 61 | 5 |
| る 億 | 世 4 |  |


国
は
23
年
度
に
7
割
5
割割
軽
減
運
し
て
い
る
が （5）
現
在
寻
は
6
割
4
4 い使
用
て
の
税
引
き
年
は
は
難 あ
る
と
な
なと
か
ら，
基
金 さ
れ
そ
の
精
算
か
23
年
度
に
 る。測
ま
た。
20
年
度
発
の
前






市主催事業での沃踆指導


行政改革を進めるあきる野市（本庁舎）




田中 千代子議員

## 市情報の分野別配信を

チャンネル増で配信可能


放置自転車



栭约入入人のームれまから

検十市自るし



市
に
使
て
て
い
た
た
た







园 マリ）




い
地
域
も
見
$ら$
れ
る
そ
そ
ぞ域
 か
そ
そ
の
設
置
場
所
に
に
少し度
高
ま
て
て
き
て
る治
俞
訓
訓
練
通
じ
認
知解量 い
て
は
市
や
町
内
会
自憅
器
の
取
$り$
扱
い
や
啓
発


供 問 A
A
D
D
の
普
信
情
報
提

## 子籠 敏人 <br> ホームページにAED設置場所を

地図付で掲載い
 （1）総
務
部
䗅
A
E
D
設
置
は，用
A
E
D
に
し
い
て
は
 を
促
し
は
ど
信 な
と
活
用
し
市
内
の
設
置






伺


本庁舎内に設置しているAED

 に財
政
的
䦗
題
あ
あ
り
慎
重交
（4）対 て
調
査
研
究
て
今
今
後 と
共
設
管
等
会し
場し が （3）
（3）知 災 自 揭 地（2）治載龱秋た安会す付設企川い突会るる胬設 ど理て査企消 が面老な゙ ら バ るテ後いるな地域自
溚
の
役
員
方
ま
た
防 （2） ，重問間署 いと等 合唕 ．

## 都道29号線の進渉は <br> 第1期工区の整備完了



工事の進む都道29号線
 4 を
頂
具
体
的
相
談
出
出
 こ
の
闑
の
対
応
は
同
地
 ま
た
道
路
予
定
の
中
に
筆
 づ
み
通
$\vdots$
$亡$
の
交
差
点
5
ら

約 | 度 |
| :--- |
| に |
| 秋 |
| 3 |
| $\cdot$ |
| 3 |
|  |
| 9 |
| 号 |
| 線 |
| $\vdots$ | ①

東
京
都
は
は
平
成
21
年


 ar gev＜ 4 h her








 う
要
髪
す
る。心
て
遊
离
環
境
作
る
る険状
部
分
改
修
行
行
い
安



公園内の壊れているベンチ

 たけ蔐
切
な
詨
応
を
し
て
行
き
間
題
と
捉
そ
て
る
暑
急



掘快浆

分
は
い
え
な
い
が
市
民
に
沪のトラN゚




 ①
シ
ル
バ
人
材
セ
シ
多
1
望



